資料 2

2. 実施した対策の効果・影響の検討

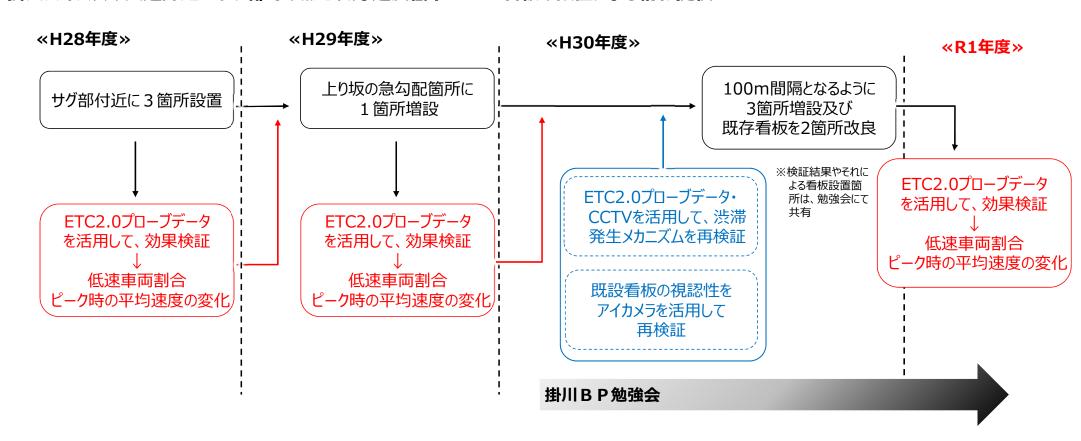
各関係機関よりご報告をお願いします

1. 国道1号掛川バイパス: SL看板の設置による情報提供 (実施主体:国交省、静岡県、掛川市)

1-1 対策の検討・実施の経緯

- ○掛川バイパス上り線では、大池IC付近で速度低下が発生しており、「サグ部での無意識な速度低下」が要因の一つである
- ○平成28年度より、「サグ部での無意識な速度低下」対策としてSL看板を3箇所設置し、平成29年度では上り坂の急勾配箇所に1箇所増設
- ○平成30年度は、ETC2.0プローブデータやCCTVを活用したより詳細な渋滞発生メカニズムの検証や、過年度までに設置している看板の視認性をアイカメラを活用した検証結果により看板の3箇所増設及び既設看板を2箇所改良
- ○SL看板の効果向上のために、道の駅や掛川市の施設にチラシによる情報提供を実施
- ○H30年度より国・静岡県・掛川市と掛川バイパス渋滞対策勉強会を開始。渋滞要因の共有やSL看板設置等の短期対策の検討を実施

掛川バイパスの交通課題:サグ部での無意識な速度低下⇒S L 看板の設置による情報提供



1. 国道1号掛川バイパス: SL看板の設置による情報提供 (実施主体:国交省)

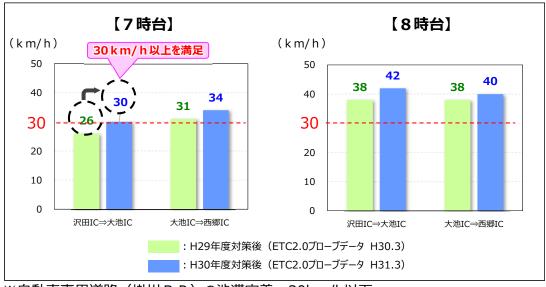
1-2 SL看板設置前後の旅行速度状況

- ○上り線大池IC通過後の情報提供を強化したことで、大池IC⇒西郷IC間のピーク時の旅行速度が向上するとともに、下流に伝播していた速度低下も緩和され、沢田IC⇒大池IC間の旅行速度も向上(朝ピーク時において30km/h以上を確保)
- ○看板設置前と比べ、渋滞定義の30km/h未満の割合が約10%減少。H29年度と比べると20km/h未満の割合が約10%減少

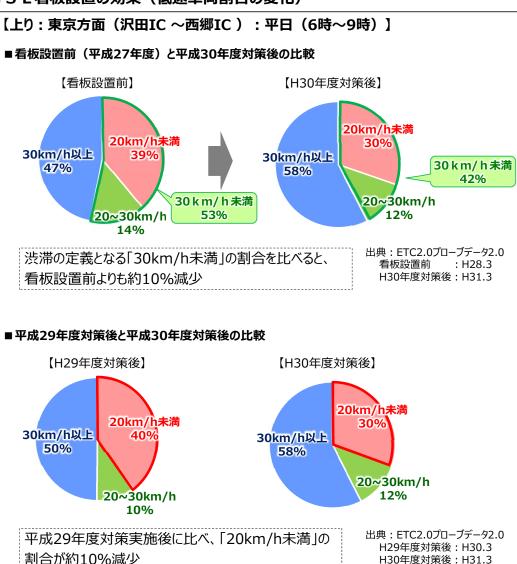
■看板設置箇所(上り)



■ピーク時間帯の旅行速度の変化(上り:西郷IC~大池IC)

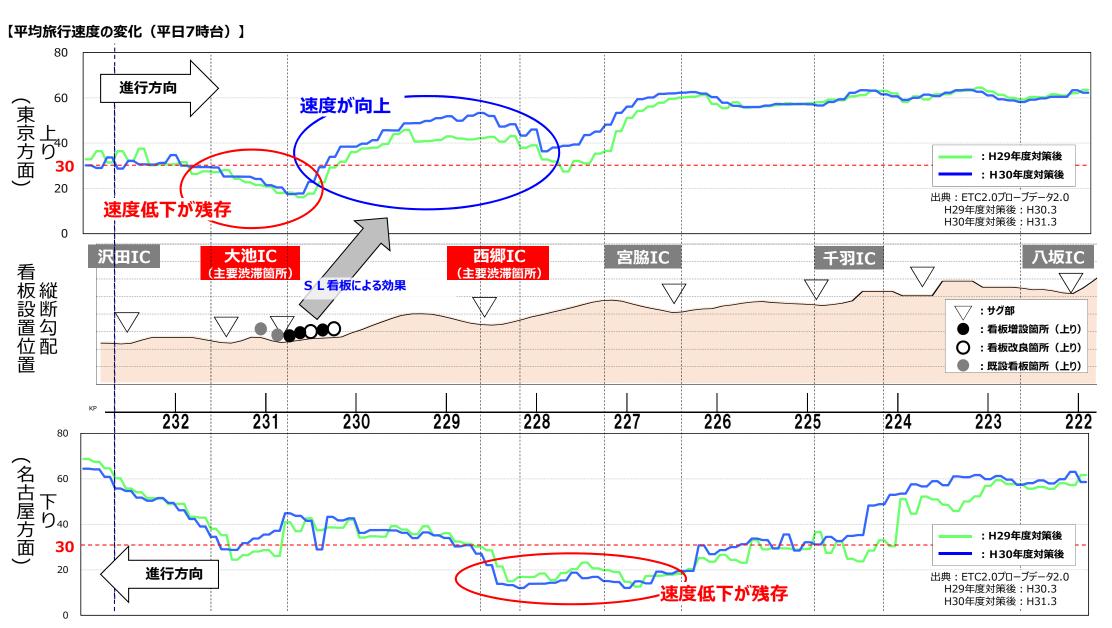


■ S L 看板設置の効果(低速車両割合の変化)



1. 国道1号掛川バイパス: SL看板の設置による情報提供 (実施主体: 国交省)

- ○上り線では、概ね100m間隔の連続的な情報提供を実施したことで、大池IC通過後の速度が向上
- ○主要渋滞箇所のうち、大池ICでは上り線において速度低下が残存、西郷ICでは下り線に速度低下が残存するため更なる対策が今後必要



2. 舘山寺スマートIC整備(実施主体:浜松市)

2-1 舘山寺スマートICの事業概要

- ○舘山寺エリアへの観光客は県外からが多く、その大半は自動車による来訪で、舘山寺スマートIC開通前は浜松西ICを利用しており、5月の観光シーズンを中心に、そのルート上で渋滞が発生していた
- ○交通混雑の緩和と観光拠点へのアクセス性向上等を目指し、東名高速舘山寺スマートICの整備を進め、平成31年3月17日に供用した

■概要

①整備概要

設置箇所:東名高速道路 舘山寺バスストップ

(浜松市西区呉松町)

開通日時:平成31年3月17日(日)16時

利用時間:24時間

対応車種:ETC搭載車の全車種

出入り方向:全方向



■開通式典の様子



■期待される整備効果

《交通混雑の緩和・改善 ~高速道路からの観光交通の分散~》

▶ 現状では、舘山寺や雄踏、弁天島の観光地への高速アクセスは、浜松西 I Cに集中しているため、観光地へのアクセスが集中し周辺 道路の混雑を助長しているが、スマート I Cの整備により、観光交通が利用する I Cが分散し、周辺道路の混雑緩和が期待。

《地域の活性化(観光振興)

~観光拠点へのアクセス性向上による観光客の増加への寄与~»

➤ 舘山寺スマートI Cの整備により、観光交通の利用 I Cの分散による周辺道路の混雑緩和や高速道路へのアクセス性向上による観光拠点までのアクセス時間の短縮が図られ、豊富な観光資源を活かした浜名湖周辺の周遊観光の魅力が向上し、観光客の増加への寄与が期待。

«地域の活性化(地域振興) ~物流効率化による地域産業の発展~»

- ➤ スマートICの整備は、工業製品や生産物の出荷時の京阪神方面への輸送時間を短縮するとともに、浜松西ICとの併用による高速 道路の利便性向上に寄与。
- ▶ 企業の輸送コスト削減や、品質の高い農産物の出荷などにより、地域産業の活性化が期待。

«防災機能の強化 ~大規模災害時の救急・救援・支援活動の迅速化~»

➤ 舘山寺スマート I Cの整備により、東名高速道路から避難所までの緊急輸送道路のアクセス距離の短縮やリダンダンシーが強化され、 津波による浸水被害にも影響を受けないルートが確保されることから、庄内半島への迅速な救援・救助や復旧活動への効果が期待。

≪整備効果例:高速道路⇒観光拠点のアクセス性向上≫



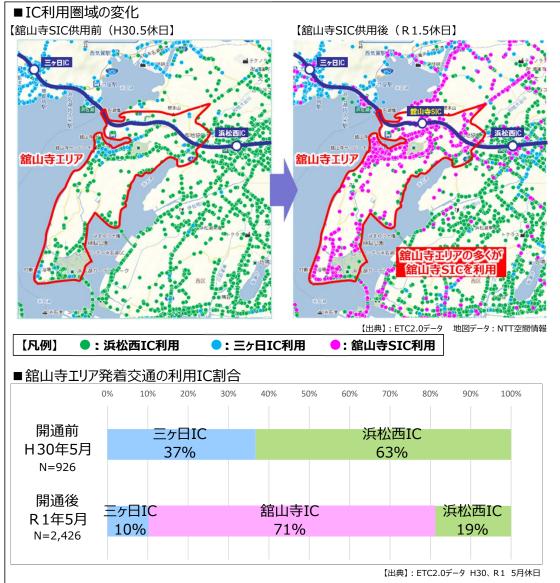
«整備効果例:避難所⇒高速ICのアクセス性向上»



2. 舘山寺スマートIC整備(実施主体:浜松市)

- ○スマートIC供用後、浜松西ICと舘山寺エリアを結ぶルートにおいて渋滞が大幅に緩和(和地向交差点)
- ○舘山寺エリア周辺ではスマートICを利用する交通が多く、IC利用の分散効果が確認できた
- ○今後は秋季観光期に実態調査を実施し、追加検証を実施予定

■整備効果(交通混雑の緩和・改善)





【出典】交通実態調査結果(浜松市) 開通前: H24.5.4(金·祝)

開通後: R1.5.4 (土·祝)

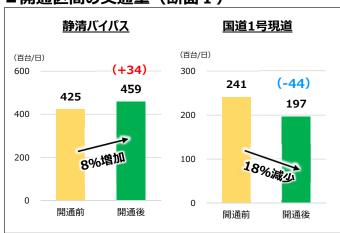
■今後の予定

・秋季観光期にも交通量調査を行い、整備効果の追加検証を実施予定。

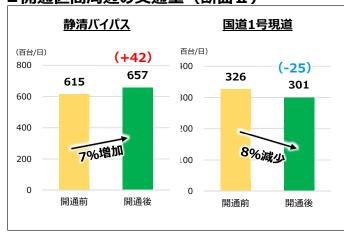
3-1 静清バイパス・国道1号現道の交通量・旅行速度の変化

- ○静清バイパス全線4車線化により、交通量は静清バイパスで1割程度増加、1号現道は1~2割程度減少
- ○静清バイパスは牧ケ谷IC~丸子ICを先頭とする渋滞が解消し、速度が改善
- ○1号現道は、安部川渡河部付近の速度が改善

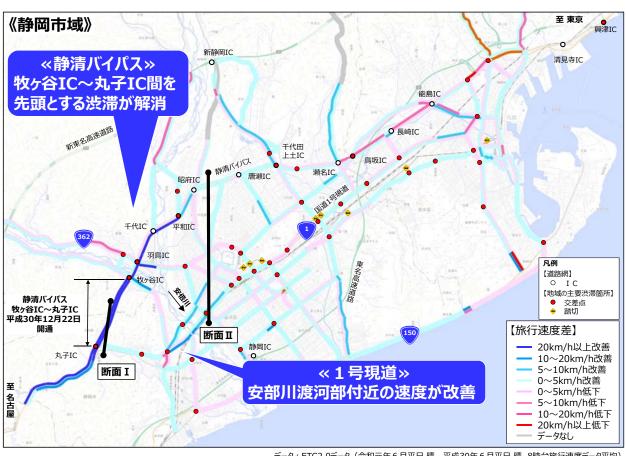
■開通区間の交通量(断面I)



■開通区間周辺の交通量(断面Ⅱ)



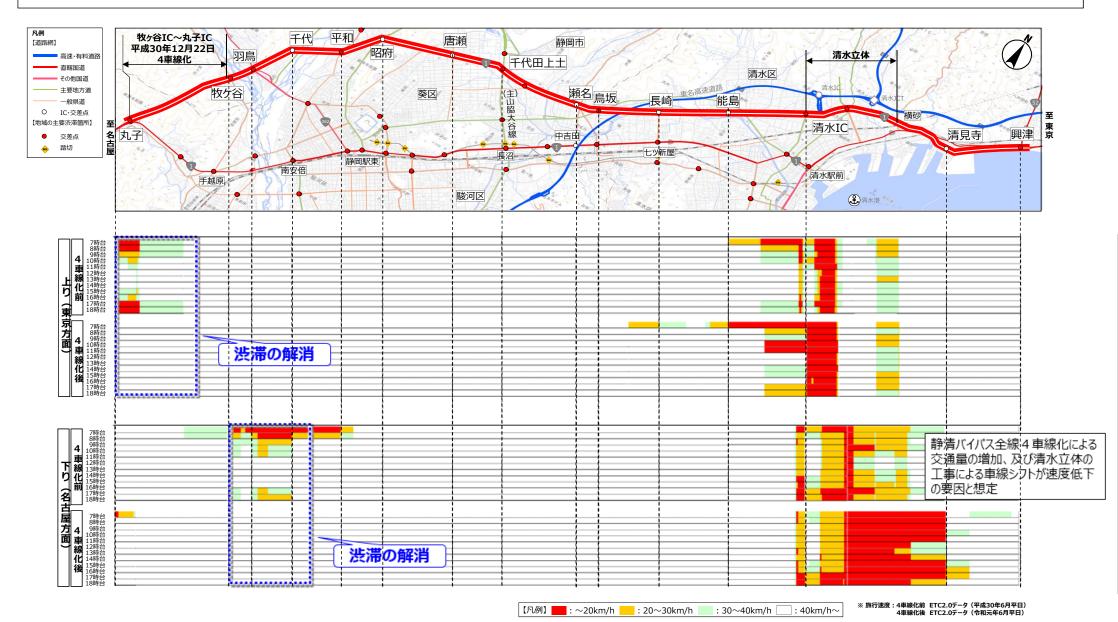
開通前:平成27年度 全国道路·街路交通情勢調査 開通後:令和元年6月20日(木)調査結果及びトラカンデータ



データ: ETC2.0データ(令和元年6月平日 晴 - 平成30年6月平日 晴 8時台旅行速度データ平均)

3-2 静清バイパス本線の旅行速度状況

- ○静清バイパス全線4車線化により牧ケ谷~丸子区間を先頭とする本線渋滞は解消
- ○一方、清水立体付近を先頭とする渋滞は悪化しており、清水立体事業の推進が必要



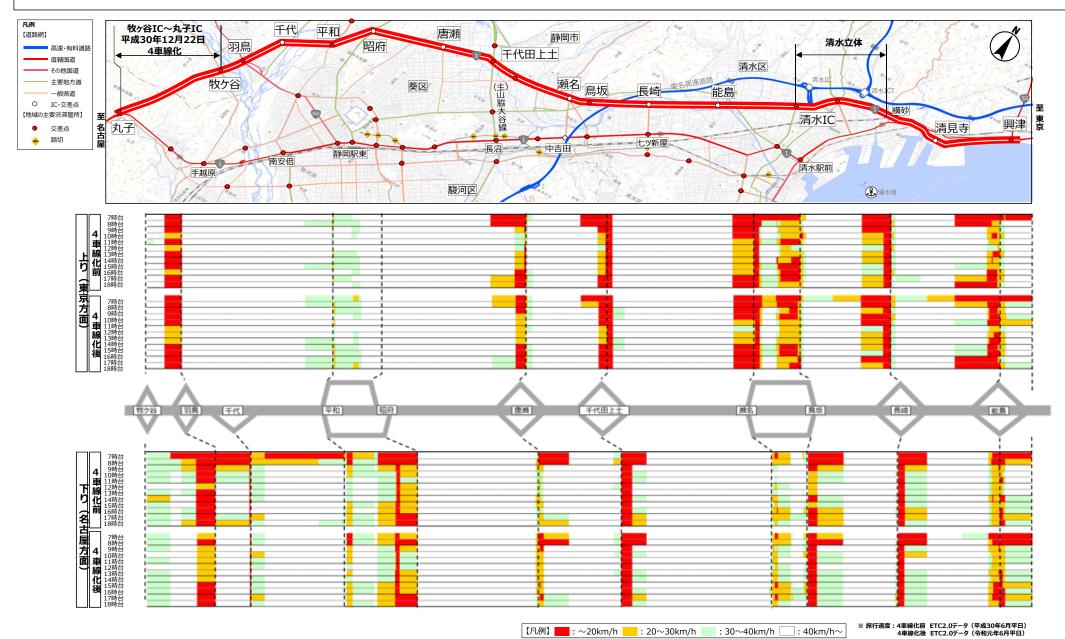
3-3 国道1号現道の旅行速度状況

- ○静清バイパス全線4車線化により、1号現道下りにおいて、手越原交差点を先頭とした渋滞が緩和
- ○一方で、静岡・清水市街地や、現道の主要交差点に渋滞が残存



3-4 静清バイパス各ランプ部の旅行速度状況

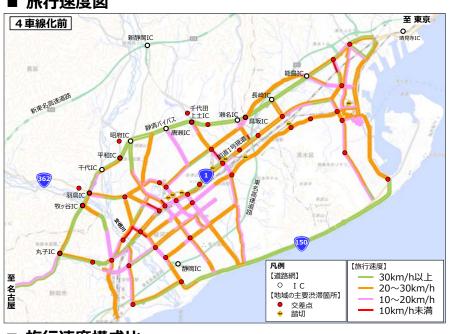
○主要な南北の道路との I C部(オフランプ部)において、引き続き局所的な交通集中が発生しており、今後渋滞対策に向けた検討を実施する



3-5 平日8時台の旅行速度比較

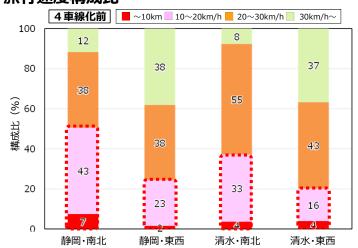
- ○静清バイパス全線4車線化により、静岡市街地の東西方向の速度は改善
- ○一方、静岡市街地の南北方向、清水市街地は南北・東西とも速度が低い区間が残存

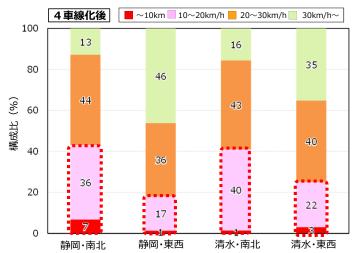
■ 旅行速度図





■ 旅行速度構成比



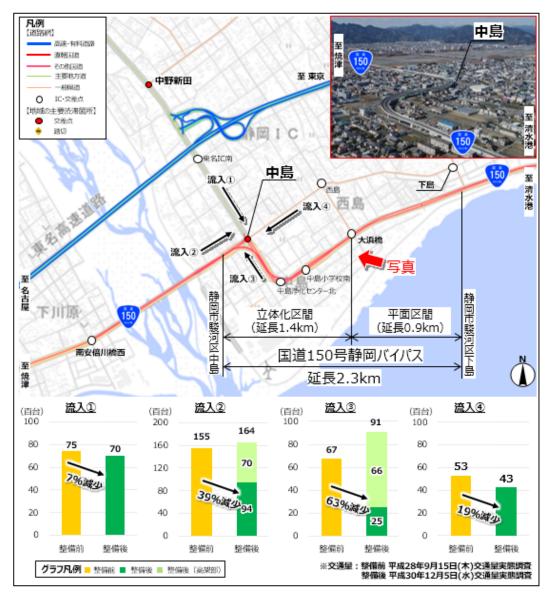


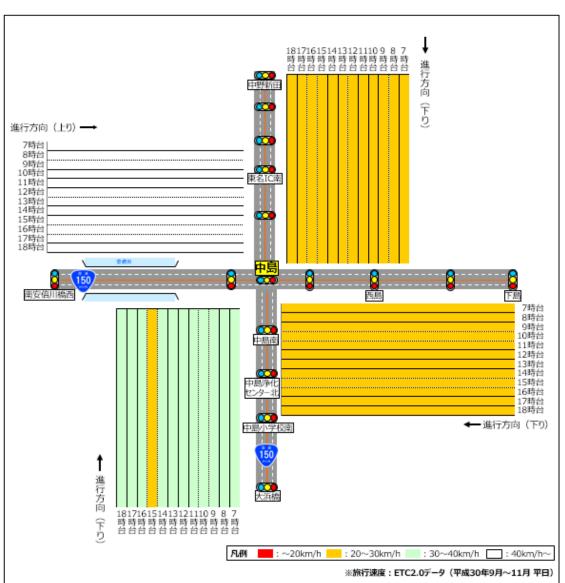
出典: ETC2.0プローブデータ 4車線化前: 平成30年6月平日 晴 8時台 4車線化後: 令和元年6月平日 晴 8時台

4. 国道150号静岡バイパス(実施主体:静岡市) < H30年3月24日開通>

4-1 静岡バイパスの交通量・旅行速度図

○国道150号静岡バイパスは中島高架橋の整備により、中島交差点への流入交通量が減少し渋滞が解消したため、 主要渋滞箇所から削除





5. 天城北道路(大平IC~月ケ瀬IC)・国道136号下船原バイパス(静岡県伊豆市下船原~月ケ瀬) (実施主体:国交省、静岡県) < 2019年1月26日開通>

5-1 実施した渋滞対策概要、及び交通状況の変化

- 主要渋滞箇所の出口交差点(国道414号と国道136号の結節点)では、観光期において渋滞が発生。
- 天城北道路の整備により、現道の交通量が約7割減少。
- 交通の転換により、主要渋滞箇所の出口交差点の渋滞が解消(主要渋滞箇所から削除)、所要時間が18分短縮。

■位置図



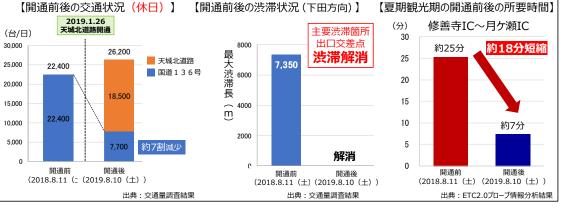
≪諸元≫

箇 所 名 : 天城北道路 延 長 : 5.1 k m

■開通前後の交通状況の変化







■開通前後の渋滞状況



6. 国道136号バイパス (実施主体:静岡県・静岡県道路公社)

6-1 速度低下対策

- 国道136号バイパスにて慢性的に発生している沼津方面(下り)における渋滞や速度低下の緩和対策として、長岡第3トンネル内に、任意の速度で 進行方向に流れるように発光する「視線誘導灯」を2018年12月に設置。
- 設置後、河津桜まつり期において、16時~18時の夕方の時間帯に渋滞の緩和がみられた。

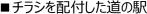


7. 河津桜まつり期間中における時間・経路分散策 (実施主体:国交省・静岡県道路公社)

7-1 実施した渋滞対策(~2018年度)

「2017~ 継続実施中]

- 河津桜まつり期間中に伊豆半島の道の駅、観光協会、主要な観光施設に、帰宅時間を遅らせることによる所要時間の短縮や、伊豆スカイラインの主要な区間 で通行料金割引キャンペーン(静岡県道路公社)の案内による経路分散を促すチラシを配布。
- 沼津河川国道事務所のホームページに伊豆地域の混雑情報やチラシの内容が閲覧できるバナー「河津桜まつり期間中に混雑を回避するテクニック」を設置。
- チラシ配布後、伊豆地域の混雑情報のアクセス数が、直近の通常休日に対して約5倍増加。





■配付したチラシ



		催期間中」に N道に帰るには・・	混雑が予想されます。
伊豆スカ 3月11日: になる通	なしで夜景 伊豆スイラインではま まで通行料金か行料金割引キリ イスインの8年7月間か	区間を回避! ・ 特麗な ・ カイラインルー ・ 東京の同で3前引 ・ ナンベーンを実施中で ・ サンベーンを実施中で ・ サンベーンを実施中で ・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学	
_	スメの出発	時間帯を回避 時刻 18 時以降(時刻 18 時以降(明 - 河水(まで 1931 - 東京の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	こ出発 2/800代8人
\$10 9.81 10	į.	to be at me and the street	最大で 1時間以上早く 到着できます。
ASSET 1			

■チラシを配付した道の駅

伊東マリンタウン	開国下田みなと	
天城越え	伊豆のへそ	
花の三聖苑伊豆松崎	下賀茂温泉湯の花	
くるら戸田	伊豆ゲートウェイ函南	

■チラシを配付した組来協会

■ナノンで昭刊した観兀励云				
熱海市観光協会	沼津観光協会			
伊東観光協会	三島市観光協会			
東伊豆観光協会	伊豆市観光協会			
西伊豆観光協会	伊豆の国観光協会			
河津町観光協会	土肥観光協会			
下田市観光協会	伊豆白浜観光協会			
南伊豆観光協会	外浦観光協会			
松崎町観光協会				

■チラシを配付した伊豆半島の主要な観光施設

アカオハーブ&ローズガーデン	旅の駅グランパルポート		
伊豆シャボテン公園	黄金崎クリスタルパーク		
浄蓮の滝観光センター	伊豆アニマルキングダム		
土肥金山	下田海中水族館		
熱川バナナワニ園	iZoo		

■ スマートフォン・P C サイトのバナー設置



掲載例:伊豆市観光協会ホームページ

【河津桜まつり期間平均】

■伊豆地域の混雑情報のアクセス数推移





8. 夏期観光期における時間・経路分散施策 (実施主体:国交省・静岡県道路公社)

8-1 実施した渋滞対策(~2019年度)

伊里アニマルキングダム

[2017~ 継続実施中]

- 夏期観光期に伊豆半島の道の駅、観光協会、主要な観光施設に、帰宅時間を遅らせることによる所要時間の短縮や、経路分散を促すチラシを配布。
- 2019.2河津桜まつり期間中に実施した対策に加え、沼津河川国道事務所ホームページに特設サイトを設置し、更なる周知を実施。
- 今後、夏期観光期の伊豆地域の混雑状況についてとりまとめを実施予定。
- ■チラシの配布

■特設サイトの設置(沼津河川国道事務所ホームページ)



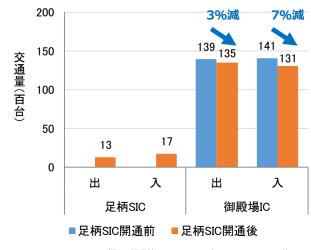


9. 足柄スマートICの設置[スマートIC整備] (実施主体:小山町)

9-1 実施した渋滞対策(~2018年度)

- 東名高速道路足柄スマート I Cが2019年3月9日(土)に開通。
- 足柄スマートICの整備後、御殿場ICで出入りしていた交通の一部が足柄SICに転換したことで、御殿場ICに接続する国道138号の旅行速度が向上。

■ I C出入交通量



足柄SIC開通前: 2018.5.12(土).13(日)の24 h 平均 足柄SIC開通後: 2019.5.11(土).12(日)の24 h 平均 データ: NEXCO中日本

■足柄スマートIC利用状況

入口

<上り線(小山町)>

<下り線(小山町)>



■足柄スマートIC整備による効果 【足柄スマートIC開通前の旅行速度】



【足柄スマートIC開通後の旅行速度】



データ: ETC2.0プローブデータ 開通前 (2018.5.12(土).13(日) 14時台) 、 開通後 (2019.5.11(土).12(日) 14時台)

10-1 結論(案)

- ○国道1号掛川バイパスへのSL看板の設置により、旅行速度が向上し一定の渋滞緩和が見られ、大池 IC通過後の速度回復が大幅に向上した
- ○舘山寺SIC整備により、浜松西ICから館山寺エリアへ向かう渋滞が大幅に緩和、及び、舘山寺エリア周辺でのIC利用の分散効果が確認できた
- ○国道1号静清バイパスの全線4車線化により、バイパス本線や現道の並行区間において渋滞が緩和した
- ○一方、静清バイパスの清水立体の区間や、現道の主要交差点に大きな渋滞が発生している また、バイパスと主要な南北の道路との I C部において、引き続き局所的な交通集中が発生している
- ○国道150号静岡バイパスの開通により、中島交差点における渋滞は解消した

- ○伊豆縦貫自動車道天城北道路の開通により、現道の交通量が約7割減少し、主要渋滞箇所の出口 交差点における18分の所要時間短縮、渋滞は解消した
- ○国道136号バイパスの視線誘導灯により、河津桜まつり期において16時~18時の夕方の時間帯に渋滞の緩和が見られた
- ○河津桜まつり期間中における時間・経路分散策として実施した通行料金割引キャンペーンの案内チラシの配布・事務所HPへのバナー設置により、HPへのアクセス数が5倍増加した
- ○平成31年3月9日の足柄SICの開通により、御殿場ICで出入りしていた交通の一部が足柄SICに転換したことで、御殿場ICに接続する国道138号の旅行速度が向上した

10-2 モニタリング実施結果(R元年度)

静岡県内の主要渋滞箇所(280箇所)のモニタリング結果 ※平成30年度末

最新の交通デ

夕

渋滞箇所の分類 (渋滞箇所の抽出指標)	主要渋滞箇所数(280箇所)
①平日における渋滞箇所 (昼間12時間の損失時間 80万人時間/年以上など)	146箇所
②観光期における渋滞箇所 (観光エリア内のピーク時最低旅行速度のワースト1割以内など)	19箇所
③踏切による渋滞箇所 (1日の踏切自動車交通遮断量5万台・時/日以上など)	4 箇所
④パブリックコメントによる追加箇所 (パブリックコメント意見箇所を最新データなどにより確認)	111箇所

※選定時の分類による

 モニタリング実施結果

 渋滞箇所の 抽出指標に 該当する箇所
 渋滞箇所の 抽出指標に 該当しない箇所

 139箇所
 7箇所

 16箇所
 3箇所

 4箇所
 0箇所

 111箇所
 0箇所

※ETC2.0データ、トラカンデータ等による (H30年9-11月平日、8月休日)



対策の実施により速度向上がみられた中島交差点、出口交差点を主要渋滞箇所から削除

